

日本学術会議 公開シンポジウム

海洋生物学の 未来社会への貢献

2017年7月25日 (火)
13:00 ~ 17:00

東京大学小柴ホール

東京都文京区本郷7-3-1 東京大学理学部1号館中央棟2階
<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/map/map01.html>

入場無料

要事前登録

氏名、所属、職名を
ocean@oa.u-tokyo.ac.jpまで



海洋生物学は、地球環境と人類の将来を担っている。その研究と人材育成には多くの教育研究機関がたずさわっている。本シンポジウムでは、海洋生物学のさまざまな分野の研究者にお話しをいただき、海洋生物学の現状に焦点をあてて、未来社会にどのように貢献していけるかを考えたい。

13:15~16:00

全国大学臨海実験所の研究と教育の現状と今後

坂本竜哉 (岡山大学臨海実験所、全国臨海実験所所長会議議長)

全国水産実験所における教育研究からの社会貢献

上田 宏 (日本学術会議連携会員、北海道大学名誉教授)

海洋生物学の未来を見据えて

藤倉克則 (国立研究開発法人 海洋研究開発機構)

水族館からの海洋生物学への貢献

野中正法 (沖縄美ら島財団総合研究センター)

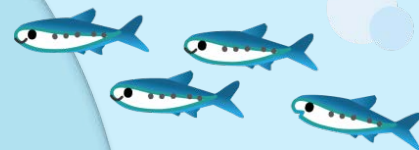
海洋生物学に期待されるSDG14実現に向けた貢献

古川恵太 (笹川平和財団海洋政策研究所、横浜国立大学)

16:00~16:55

パネルディスカッション

コーディネーター 津田 敦 (東京大学大気海洋研究所)



主催
日本学術会議 海洋生物学分科会

共催
東京大学海洋アライアンス

後援
東京大学海洋基礎生物学研究推進センター
日本海洋学会、日本水産学会、日本動物学会
海洋研究開発機構 (JAMSTEC)、日本財団